



議会だより

第81号

平成20年
4月17日発行

ここえ



ここえの春

3月定例会

●20年度一般会計予算28.9%増

P.2・3

●一般質問 6名

P.6～P.11

●わたしのひとこと

南山田栗原 穴井 勲さん P.13

●こんな町にしてほしい

東飯田田尻 藤原なるみさん

南山田中学校3年 高野 瑞希さん P.14

平成20年

3月定例会

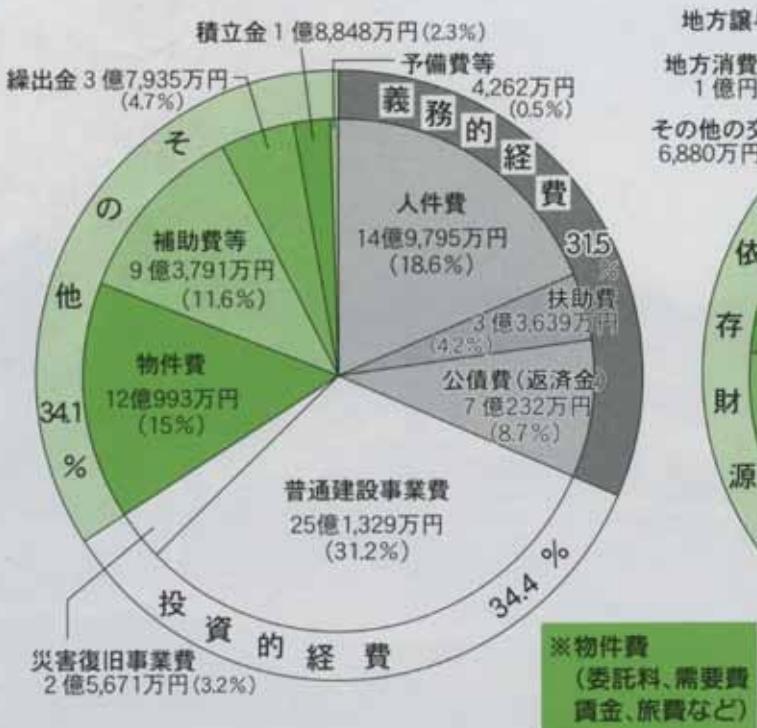
本定例会は、3月5日から19日までの15日間開かれ
議案39件、発議3件、請願1件、陳情5件（継続2件）を
慎重に審議しました。

一般会計当初予算

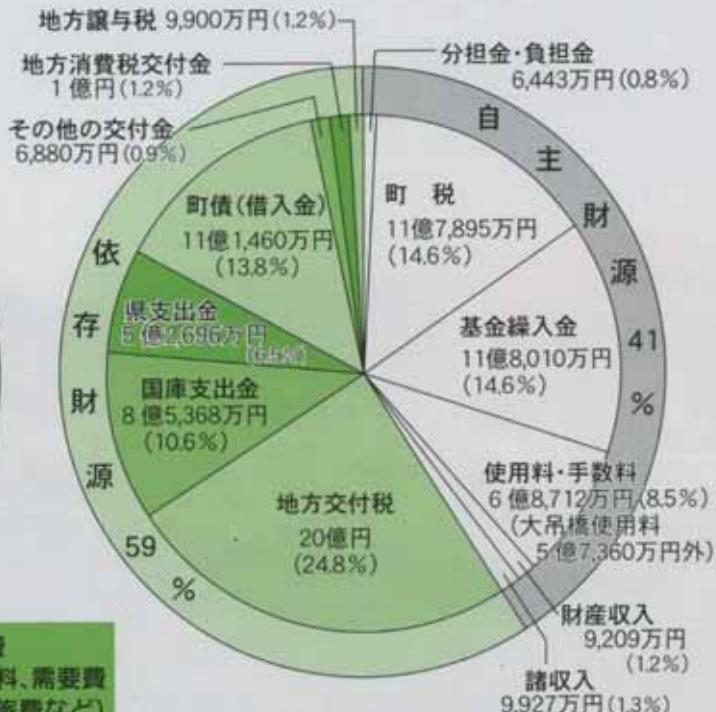
80億6,500万円 (前年度比
28.9%増)

13年ぶりの80億を超える大型予算は、
地域情報化推進事業（約16億）の実施が要因

歳出 (80億6,500万円)



歳入 (80億6,500万円)



特別会計予算総額 33億86万円

国民健康保険特別会計	15億8,032万3千円
水道特別会計	1億1,644万2千円
同和住宅資金貸付事業特別会計	62万1千円
飯田高原診療所特別会計	7,458万7千円

老人保健特別会計 (移行のため20年3月分だけ)	1億6,160万3千円
介護保険特別会計	12億449万3千円
介護サービス事業特別会計	2,837万4千円
後期高齢者医療特別会計	1億3,441万7千円

新年度予算ピックアップ

- ◇ 地域情報化推進事業費 16億 642万円
(ブロードバンド及びケーブルテレビ施設整備)
〈財源〉国交付金 4億2,300万円、過疎債 8億4,600万円、町有施設整備基金 3億円、一般財源 3,742万円

平成20年度 第1回地域情報対策特別委員会の報告

サービス内容が決定

<ケーブルテレビ (CATV) >

- ・加入金（分担金）は、52,500円（税込）。ただし、特別期間（4月～9月）は、無料になりました。
- ・標準工事費（宅外工事）は、特別期間（4月～9月）に限り無料になりました。
- ・宅内工事費は、加入者が負担する。
- ・九重町基本プラン（自主放送+県内5波）は1,050円／月になりました。
※詳細は、町より説明します。

<ブロードバンド (B, B) >

- ・加入金は、ケーブルテレビの「九重町基本プラン」に加入していれば無料になりました。
- ・標準工事費は、ケーブルテレビの「九重町基本プラン」に加入していれば無料になりました。
- ・宅内工事費は、15,750円になりました。
※詳細は、町より説明があります。

- ◇ 総合行政情報推進事業費 1億 116万円
(委託料、リース料、備品購入費、外)
- ◇ 国民健康保険特別会計繰出金 7,966万円
- ◇ 介護保険特別会計繰出金 1億9,564万円
- ◇ 後期高齢者医療特別会計繰出金 5,254万円
- ◇ 後期高齢者医療広域連合負担金 1億1,829万円
- ◇ 玖珠九重行政組合負担金 2億3,231万円
- ◇ 日田玖珠広域消防組合負担金 1億4,865万円
- ◇ 校舎耐震診断委託料 1,199万円
- ◇ 湯沢集会所建設事業費 3,057万円
- ◇ 県工事負担金 6,295万円
- ◇ 一般町道改修事業費 3,750万円
- ◇ 国体推進事業費 6,306万円
- ◇ バイオセンター施設費 8,382万円
(種苗生産委託料 7,850万円、土地賃借料 180万円、外)
- ◇ 防衛施設周辺障害防止対策事業費 5,277万円
(中須導水路改修 延長 955.5m)
- ◇ 中山間地域直接支払い事業費 6,275万円
- ◇ 緊急地方道路整備事業費 2億2,206万円
(宝泉寺栗原線 延長 650m、笠ノ口須久保線 延長 200m)
- ◇ 大吊橋施設管理費 1億8,848万円
- ◇ 大吊橋周辺整備事業費 7,640万円
(農産物直販所、観光案内所、休憩所、外)



バイオセンター

県町村議会議長会会長に就任

議長

大石 光則



この度不肖私が、県町村議会議長会の会長という重責を担うことになり、責任の重さを痛感しております。地方6団体の一角落を担う町議会議長会の役割は、極めて重大であります。

3町1村の議長会の会長として、その職責を全うするよう努力してまいります。町民の皆さんをはじめ、議員各位の御指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

寄贈・受けました

小野喜美夫氏（飯田筌の口）より、自費出版の著書『九重・飯田高原百話集』を議会に14冊頂きました。

固定資産

評価審査委員会委員に

佐藤 由則氏



現固定資産評価審査委員会委員の梅木文明氏が平成20年3月21日で任期満了となるため、後任として佐藤由則氏を選任することに満場一致で同意しました。

Q

学校再編住民アンケート

A
度对比2千7百万円の減となりっているが、その理由は、復旧工事の見通しがつかない（用地確保ができない）ための減額である。

A
度对比2千7百万円の減となりっているが、その理由は、復旧工事の見通しがつかない（用地確保ができない）ための減額である。

A
地域情報化推進事業（ケーブルテレビ、プロードバンド施設整備事業）に16億円かかり、起債（借入）分の償還用に基金積立てをしておかなければならぬ。そのための加入金、5万2千5百円を加入促進期間中無料にするための費用も要るので、大吊橋使用料から、町民にどのような形で還元できるかまだ決められない。

新年度予算質疑（抜粋）

（抜粋）

Q バイオセンターの苗売払い収入が、8千3百万円予算化されているが、前年の重さを痛感しております。

A 過去の実績からは厳しいが、本年度は努力して目標達成に努めたい。

A 調査対象者の決め方及び調査実施時期をお聞きする。

A 町全域で、年令・男女等を考慮して、300人を無作為に抽出し、新年度になつたら直ちにアンケート調査を実施し、6月には学

校再編の方向を示したい。

Q 電算システム貸借料等に約1億円計上しているが、委託しないで職員で出来ないか。

A 電算システムを独自で開発している自治体もあるが、同じ基盤が整備された段階で検討したい。

Q 大吊橋使用料（120万人分）として、5億7360万円計上されている。

A 地域情報化推進事業（ケーブルテレビ、プロードバンド施設整備事業）に16億円かかり、起債（借入）分の償還用に基金積立てをしておかなければならぬ。そのための加入金、5万2千5百円を加入促進期間中無料にするための費用も要るので、大吊橋使用料から、町民にどのような形で還元できるかまだ決められない。



大吊橋券売所

みなさまの請願は

こうなりました。

請願

●義務教育費国庫負担制度の堅持および教育予算の拡充を求める意見書の提出に関する請願は、

義務教育費は国が責任を持つて堅持すべきで、請願の趣旨は理解できるとして採択し、国に対して意見書を提出することと意見の一致をみました。

陳情

九重町消防団第4分団9

部詰所建替えの陳情について

建設後32年が経過し、外壁の損傷、格納庫床下からの漏水等があり、土地の確保を条件にし、採択するごとで意見の一致をみました。



第4分団9部詰所（野上）

町道筌の口吹上線の改良幅員が狭くカーブも多い

ため通行に支障をきたしている現状があります。相当の経費がかかるため、当面緊急的な措置として側溝に蓋をかけるなどの事業を行うことは必要であり、採択することで意見の一一致をみました。

北区集会所の進入路確保についての陳情は、

県道飯田高原中村線の拡

幅工事の関係で町有地を処分したために、集会所が袋小路となり、玖珠九重農協の用地を利用しているのが現状であり、このままの状況では安心して集会所の使用ができないことから、町及び地元関係者等で代替地の確保も視野に入れて検討していくことも必要なので採択することで意見の一一致をみました。

議案

旧慣使用の廃止

大字恵良善王寺のため池を使用する恵良組が高齢化により、ため池の維持管理が困難になつたため、旧慣使用権を放棄したい旨の承諾書が出されたので、やむを得ない状況でもあり、適当であるとしました。

九重町ケーブルテレビネットワーク施設条例の制定

平成21年4月のケーブルテレビの運用開始に向け、公の施設としてケーブルテレビネットワーク施設を設置する条例の制定を行うもので、適当としました。



淮園小学校の将来を考える会長 時松春武氏からの学
校統合反対の陳情、

名からの淮園小学校統合に
反対する陳情は、民意を把握する必要があるため、住民意識調査を計画している。議会は、その意識調査の結果とこれまでの経過をもとに総合的に判断したいので、この陳情はさらに継続審査とすることとで意見の一一致をみました。

歴史民俗資料館の設置、管理及び運営に関する条例の廃止

昭和53年に設置された「歴史民俗資料館」は地盤が軟弱であり、建物自体にも相当なくるいが生じていることから、建物を解体して再建築するには多額の経費を要する。また、新たに運営するにしても多額の経費を要すること等により、資料館の廃止に伴い条例の廃止を行うものであり、適当としました。



廃止される歴史民俗資料館（長者原）

一般質問

「こども園」の総合施設整備計画は

内部で検討中、早期に計画をたてたい

3月14日、6名が
質問しました。
内容を要約して
お知らせします。

井上里子



井上 幼保一体化による「こども園」がスタートして三年が経過した。一体化三年目の課題をお聞きしたい。

教育長 課題の1点目は、幼稚園と保育所が同じ場所に併設されていないので、幼稚園教諭と保育士の考え方がなかなか埋まらない。

2点目は、0歳児から小学校就学まで見通した子どもたちに一貫性の確保が不十分である。3点目は、家庭で子育てをしている親たちに対する相談や支援が新たな役割であるが、まだ不十分である。

井上 諸課題の解決に向けて、新年度力を入れて取り組むことは。引き続き、職員会議や職員研修を充実させる

ことである。職員体制の充実も考えながら、職員同士の共通認識の場を積み重ねていくことが大事である。

教育行政基本方針について問う

今、学校にいろいろな課題や問題が持ち込まれ

ているが、教師が子どもたちと向き合う時間を増やすために、コーディネーター

が学校現場に出向いて行き、学校ごとの課題を取りまとめて、外部から手を差し伸べて解決できる問題があれば解決していこうというこ

とである。まず組織づくりをしなければならない。

ができないか。今から再編に向けた議論を町民としていきたい。

井上 国において20年度設置が制度化された学校支援地域本部について、本町ではどういう組織でどのよう

に学校を支援していくのか。

井上 新年度、生涯学習課と教育振興課を統合するといふことであるが、そういう形で生涯学習課が吸収されしていくことは、社会教育が基本方針に示された方向で充実していくのか気がかりである。社会教育全体を充実させてもらいたい。

教育長 整備計画をたてて順次整備していくのが一番望ましいが、財政計画との絡みもあるので、内部では検討しているが、まだ進んでいないのが実情である。

できるだけ早期に計画をたて、民营化の可能性も含めて議論していくかなければと思つて

思つていい。

教育長 指摘された生涯学習課と教育振興課の合体は、教育行政全体から見ると、後退と言わざるを得ない状況であるが、その分、社会教育の現場を充実させるために、公民館を再編してほしいと町長部局にお願いしている。



こども園（年少クラス園）

最低水準の子牛市場 今後どうする

導入事業については県外種雄牛も

佐藤博美



牛舎

和牛の子牛販売額は8~9億円と九重町の中でも一番大きな産物となつてゐるが、大分県の子牛価格特に雌牛の価格は全国で最も低レベルである。宮崎や鹿



児島と比べると10万円以上安い。現状の県産種雄牛に残つていては畜産農家はたよつて畜産農家は入事業や、雌牛の保留牛に対する5万円の補助があるが、県産の種牛という縛りがある。この県産の種雄牛といふ枠を取るべきと思うが、又、大分県は肥育農家が少なく肥育した牛のデーター、育種価が帰つて来ない。県外の肥育農家に対して肥育後のデーターを返してもらえる体制を考える事が必要ではないか。

児島と比べると10万円以上安い。現状の県産種雄牛に残つていては畜産農家はたよつて畜産農家は入事業や、雌牛の保留牛に対する5万円の補助があるが、県産の種牛という縛りがある。この県産の種雄牛といふ枠を取るべきと思うが、又、大分県は肥育農家が少なく肥育した牛のデーター、育種価が帰つて来ない。県外の肥育農家に対して肥育後のデーターを返してもらえる体制を考える事が必要ではないか。

町長

家畜導入はこれまで省内産の種雄牛である事が条件であつたが、今後は母方の親か母方の祖父が県有種雄牛であれば、県外種雄牛の産子でもいいとなつた。保育牛の補助の問題は、今後家畜保健所や畜産農家の意見、組織の考え方等を聞きながら検討していきたい。

中山間地の耕作放棄水田 今後の対応は

佐藤

中山間地の耕作放棄水田、今後増えると思うが、現状と今後の対策をどう考えているのか。

又、新規参入で農業を始めたいと思っても、50a以上でないと農地を買えない。九重町で特区申請を行い、10aからでも農地を持つようになり、田舎暮らしをしたい人を受け入れやすい環境を作るべきと思うが……。

農林課長

現在147ha、約1/10の農地が耕作放棄地となつており、今後も増

加する予測をしている。対応として来年度から新たな中山間地総合整備事業に取り組み、未整備地区の圃場や用排水路の整備や猪などの獣害対策として防護柵対策事業等を推進していく。農業に参入しやすくする為の特区申請については、担当手へ農地を集積させるという絡みもあるが、定住対策など幅広い検討が必要である。早急な取り組みと



棚田

日野 康志



日野 「自助」で、解決できない部分は、町が積極的に関与すべきでは。限られた予算の中で、最小経費で最大限の効果が出せるよう努力している。

日野 九重町の商工業の就業者は約20%いる。この様な状況下で、まず建設業の最近の契約金額の実績は。

町長 平成17年度は、契約金額で7億6700万円。平成18年度で5億、平成19年度は3億8千万円発注している。17年度は災害が多く、平年ベースではあまり変わらない。

日野 金額ベースでは、約半分になつていて。補正予算も減額している。この厳しい状況は、商業や農林業も同じであると考えるが。町長 土木の事業費は、災害に大きく左右される。又、国や県の財政事情も同じで、厳しい状況については理解している。

日野 町の施政方針であるが、観光振興には力を入れているが、商工業の振興については、約8行で具体性に欠けている。もっとバランスを考える必要があるのではないか。

町長 単独事業については、後半に集中しない様に対応しているが、県や国は補助金の決定通知で時期がずれ込む事が多い。できるだけ、早い時期に決定する様要望していく。

日野 工事発注の時期が、後半に集中している。町は、もちろんんだが県や国にも働きかけるべきではないか。

日野 少子化の中で、これまでの存続は厳しい。また、総合学科として受け入れしても厳しいところがある。

日野 玖珠郡としての、考えを示すべきではないか。そのためには、行政連絡会などを設置してこの問題に対処する必要があると考へるが。

町長 今は、行政連絡会が無くなつたが、以前は振興局にあつた。今後、関係団体と密接に連絡を取り、取り組んで行く。



道路改良工事現場

高校再編問題の対応は

関係団体と密接に

日野 「森高と玖珠農高を

一校にして、玖珠農高の校舎を使用する」という県か

らの素案が出たが、町長の考えは。



藤原三治



教室での学習風景

教室での学習風景

藤原 ゆとり教育から一転、学力重視の方針を打ち出した文部科学省。その中で、全国統一学力テストが実施されたが、低下したままである。また、環境も大きく

教育長 校長会等の議論の中、町を挙げて、東飯田センターの指導主事や大学教授が協力し、国・県・市・町の導する事が決まった。町も費用をつけて力を入れていきたい。

箸の上げ下しの様まで、学校に求める親が多い中、学校教育は限界に達している様に思える。学力につながる基礎、基本、生きる力、少なくとも食生活は家できちっと教える様親たちとの学習機会の場を保証しながら努力したい。

藤原 ゆとり教育から一転、学力重視の方針を打ち出した文部科学省。その中で、全国統一学力テストが実施されたが、低下したままである。また、環境も大きく

教育長 校長会等の議論の中、町を挙げて、東飯田センターの指導主事や大学教授が協力し、国・県・市・町の導する事が決まった。町も費用をつけて力を入れたい。

小が学力向上の県の指定を受けると聞いたが、町の取組みは。

農産物販売所等の早期完成を

時期を考え早く完成させたい

藤原 大吊橋は全国的に注目的、観光客も衰えを知らず、農産物販売所や観光案内所、トイレ等の整備が急がれる。低迷する農業に夢と希望と光を与えたい。

農産物販売所はどの場所にどれだけの面積でいつ頃完成する予定なのか。夜間工事を行つても早急に完成すべきではないか。何をどの様にして販売すれば売れるのか。加工食品等、客のニーズに応えるために町は生産者にどの様に指導、支援していくのか。



農産物販売所建設地（斜面の部分）

藤原 新年度予算に計上し、現在、設計をコンサル会社に委託している。通路と隣接した駐車場の斜面を切り取り利用する関係上、安全性を考えて、夜間工事も視野に入れても、5月の大型連休の客の増加を考えると、相当ずれ込む事も予想されるが、少しでも早く作り上げ皆さんに利用して頂きたくたいと思っている。

町長 新年度予算に計上し、現在、設計をコンサル会社に委託している。通路と隣接した駐車場の斜面を切り取り利用する関係上、安全性を考えて、夜間工事も視野に入れても、5月の大型連休の客の増加を考えると、相当ずれ込む事も予想されるが、少しでも早く作り上げ皆さんに利用して頂きたくたいと思っている。

9

小川克己



教育長

綱引き的な面も見

られるが方向性を出す時期
にもきていた。行政連絡会
を中心に議論し、最終的な
方向を決め、県教委等に働き
かけたい。将来的なこと
も考えると現素案では厳し
いと思われる総合的に
考えてまとめていきたい。

高校再編素案出たが対応は

現案では将来存続は厳しい

久大地区の高校再編
素案が示された。森高校（1
学年4クラス）と玖珠農高
(1学年2クラス)の統合
計画だが、普通科高校と農
業高校を一緒にするとは單
なる数合わせの論理で、関
係者や多くの郡民の理解を
得られない。森高校は学習
プラスワンを目標に学力の
向上とプラスワンのスポー
ツ文化活動にすばらしい結
果を出していり、玖珠農高
も若者の農業離れの中、
2クラスを確保しボランテ
ィア活動等頑張っている。
将来に渡り高校を郡内に
残すには普通科を主体とし
た残し方が必要だが、行政
として存続に向けた動きが
見えない。対応は。



森高校

生涯学習の推進は 体制整備に努力

学校支援も含め充実強化

小川 地区公民館が地域の
あらゆる活動の拠点として
機能するよう再編に取り組
むと教育行政方針にあるが、
これまで地区館方式から集
中管理方式の中央公民館と
して数年前は地区館廃止論
が出たような状況でどう考
えても公民館の充実論は声
だけのように思えるが考え
は。

教育長 学校支援地域本部
の設置を含めて地域の教育
力の再生等が強く望まれて
おり、地区的公民館も再編
したらどうかと考えている。
4館並列方式で公民館を充
実し、地域本部を根づかせ
現場中心の社会教育活動に
切りかえていきたいと考え
ている。

小川 家庭教育、学校教育、
社会教育をつなぐ生涯学習
の推進策で体制の整備や確
立を図るとあるが、生涯学
習課と教育振興課の統合案
は逆行するのではないか。
又、社会教育主事養成確
保に努めるとあるが予算措
置が無い。どのように考え
ているか伺いたい。

教育長 社会教育の重要性
は理解していたが現実は嚴
しい状況下にある。社教主
事の確保も早く実現したい
という願いから2年1人で
も確保に努力したい。各地
区協議会を立ち上げ社会教
育的な発想で現場を充実し
ていきたい。生涯学習課を
つぶすようなことになつた
かもしれないが、今後体制
整備に努力したい。

江藤一幸



観光協会の活性化を

自立のため 補助増

町は入湯税の一部1500万円を補助する予算を組んでいるが、近隣の湯布院や黒川はどうか。

自立支援していくのか。宝泉寺では、入湯税の徴収をしていると聞くが、将来可能なら5各支部でも入湯税の徴収をお願いし、応分の報償金を差しあげたらどうか。

役場商工観光課内に観光協会事務局を置き、1名体制で電話対応等が主な仕事で、事業そのものは行政が実質行っている。今後

の九重町観光の方向性をしつかり位置づけるため、協会からも要望もあり補助を大幅に増やした。湯布院では、収入の部で4000万

円。職員が多く、町の委託事業やつじ馬車・レンタルサイクル・絶叫大会等観光協会が受け、別な収入も特別会計で有るようで、かなりの補助金を出している。

入湯税については、宝泉寺では、徴収をしていただいているので、他支部にも何かお願いをしたい気持ちはある。

検討を加えていきたい。

経営の助言体制を！

現在体制ナシ

江藤 農業の支援事業は、ハード事業が主となつていてる。

受益後の3~5年後に所得税や町県民税を多く納めるようになつた時、良かつたということになる。事業後のフォローとして、アドバイザー、助言体制としてのソフト事業は有るのか。力を入れたらどうか。

社会教育残せ！ 社会教育計画である

江藤 今年、生涯学習課と教育振興課を一つにする計画であるが、仮称の教育委員会課長だけで、目配り気配りが届くか。重い課題・



生涯学習課



補助対象の農業施設

委員会の2本柱として、社会教育・生涯学習課を残した方がいいと思う。

教育長 効率化を図るやむを得ない現実がある。教育委員会課という名前の中に、社会教育、就学前も学校教育も含めて、一体的に取り組んで行きたい。地区の公民館に目を当てて再編できないだろうか。これは社会教育委員や公民館運営審議会委員の皆さんとの意見も聞きながら、最終の方向性を出していきたい。

十分な体制があつたかなと感じている。町として、経営的な診断、助言等についての体制は現在ない。

町独自の考え方、取り組みについて、今後肝に銘じながら進めていきたく思つてている。

発議

3意見書を採択

- ・在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件に関する意見書
- ・道路整備の財源確保に関する意見書
- ・義務教育費国庫負担制度の堅持および教育予算の拡充を求める意見書

4路線を町道に認定

◎下宝原園線

(町道下宝線から分岐して高速自動車道敷地付近までの区間 590m)
大分自動車道の建設時に工事用道路として建設された道路で、すでに舗装済みで十分な幅員もあり、認定しました。



町道宝泉寺2号線

◎宝泉寺2号線

(町道宝泉寺1号線終点から、860m 幅員7m)
2工区の工事が、平成19年度に完成することから認定しました。

◎狭間支線

(町道狭間線から分岐して橋を渡った右岸まで38m)
平成17年の集中豪雨で被害を受け、新たに橋梁と進入路が設置されたもので、生活道路でもあり認定しました。

◎寺床支線

(町道寺床線から分岐して、山すそを周回する旧寺床林道1,224m)
平成7年に町道認定の陳情が出され、議会で採択された路線ですが、改良を要する箇所があるため、地元と十分協議されることを付け加えて、認定しました。

議会の動き

28日	26日	25日	22日	19日	17日	16日	15日	14日	12日	10日	5(6日)	2月	8日	1月	5日	3月	29日
合監査(玖珠町) ①地域情報対策(特 務組)	②大吊橋周辺対策(特 務組)	議会「定例会」大分市 後期高齢者広域連合 備計画説明会(玖珠)	大分県後期高校再編整 会総会(大阪市)	第3回こそも園まつり 関西くす・こここのえ 会	社会教育を考える会	大分県市町村振興協 会評議員会(大分市)	議会(県市町村会館)	第15回「福祉と健康と 地域情報化キャラバン バイオマス調査報告会	地域情報特別委員会 ④大吊橋周辺対策(特 務組)	本会議「一般質問」 本会議「補正予算審議」 本会議「予算説明」 本会議「予算説明」	議会広報特別委員会 議会広報特別委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会「定例会」大分市 市町村会館管理組合定 例組合議会(大分市)	議模擬町議会(議場) 議会運営委員会 ③大吊橋周辺対策(特 務組)第59回定期総会(別府市)					
※(特)常任委員会 ※(特)特別委員会	27日	25日	24日	21日	19日	18日	14日	13日	12日	11日	10日	7日	6日	5日	2月	29日	

わたしのひとこと

昨年の夏の頃より、私たちの耳に、学校再編計画の声が聞かれるようになります。小学校においては、



南山田栗原
穴井 勲さん

地域の中の学校

九重町の各小学校は、地域との結びつきが大変強く、子ども達も地域の人たちの支えにより、生き生きと学校生活が送れる環境にあると思います。

九重町の宝である子ども達の未来のために、育てる場所として、地域の活力の源として、全ての小学校を残してほしいと思います。

地域の子どもは、地域で育てる事の出来る九重町であつてほしいものです。

今年の夏の頃より、私たちの耳に、学校再編計画の声が聞かれるようになります。小学校においては、



校庭で遊ぶ子どもたち（淮園小学校）

淮園小学校、野矢小学校が、統合計画の中にありました。この事を知り、両校区ともに町教育委員さん方と何回も勉強会をしてきました。町としては、少子化で小規模な学校になってきている事、それにより、子ども達への教育環境に様々な影響が有り、充実した学校生活が送れないとの理由です。そこで、淮園小学校区としては、考える会を立ち上げ、保護者、区長さん方と共に署名を集め、町へ提出しました。

今の子どもたちは、大変だなと思います。学校では先生に怒られない様にするには、家では親に誉められるためにはどうしたらいいか、一生懸命気を遣つて小さな体で演じている様に思えます。とても賢い子どもたちだと思います。そんな子どもたちも、放課後になるとストレス発散という感じでやりたい放題、子どもたちにとつてのストレス解消法の一つなのでしょうか。周りの人は、それをわかっていてプレッシャーをかけているのがわかつているのでしょうか。お父さんお母

物よりも
親の愛情を

東飯田田尾
藤原なるみさん



すこやかに育ってほしい（こども園で）

さん、もつと子どもの気持ちをわかつてください。「子どもは親の背中を見つけて育つ」と昔から言われています。今は、昔と違い苦労しなくて生活できる様になっています。子どものほししい物は何でも手に入る世の中になっています。物の大切さ、命の大切さを親が一緒に苦労して子どもたちに伝える事が必要だと思いまます。物よりも、親の愛情をもっと子どもたちに与えてほしいと思います。

こんな町にしてほしい

自然が
いっぱいの町

南山田中学校三年

高野 瑞希さん



議員リレー

随想 50

私たちが住んでいる九重町は緑がたくさんあります。私が住んでる地域も信号機やコンビニもないくらい田舎です。でも、静かでとても落ち着いているこの町が私は大好きです。

この前、何か月ぶりに村の林の道を通りました。前はわき水も出ていて、野生の動物もいてきれいな場所でした。でも、その時私の目に映つたものは、昔のき

れいな姿ではなく、使えなくなつたテレビや冷蔵庫などのゴミでうもれています。遊んでいた場所が、全く違う姿に変わつて私はすごくショックでした。よく考えれば年々ゴミのポイ捨てが増えてると思います。

私は生まれてからずっと暮らしてきたこの町が汚れていくのはとても嫌です。私はこの先五十年後も、百年後も、緑がたくさんで、落ち着いて暮らせる町にな

つてほしいと思います。

編集後記

春は、別れと出会い。

「長年勤めた職場を退職していく皆さん、大変お世話になりました。皆さんのおかげで、今の私たちの存在があります。先輩方の教

ここえの美しい自然



言していきたいと思う。

プロードバンド施設の整備によって、高速大容量の双方通信が可能となり、町民にとっては、今後もっとも活用される情報化推進施設の整備となる。

平成二十年の今期は、夢に向かつて挑戦し、悔いの無い一年にしたいと考えます。この時期こそが、目標を設定して挑戦する一番良い時期です。

平成二十年の今期は、夢に向かつて挑戦し、悔いの無い一年にしたいと考えます。

(日野康志)



3月定例会本会議風景

・委員会員藤原三治
・委員会員日野康志
・委員会員江藤一幸
・委員会員竹尾允文
・副委員長小川克巳
・委員会員井上里子
・広報委員長井上里子

佐藤 勝憲

町民の立場に
立つて



平成20年度第1回定期会が、3月5日から19日までの15日間開かれ、80億を超える一般会計予算が可決された。これほどの大型予算となつた要因は、ケーブルテレビ及びブロードバンドの施設整備事業の実施である。

この事業費は、約16億円もの多大な金額であるが、ケーブルテレビ施設の整備によつて、多チャンネル視聴、難視聴地域の解消、自ら放送の実施などができる。